

記事を読んで問いに答えましょう。

仏大統領、コンペ撤回

ノートルダム尖塔 元通りに

【パリ共同】フランスのマクロン大統領は、昨年4月のパリ・ノートルダム大聖堂の大火災で焼け落ちた尖塔（せんとつ）の修復に関して、国際的なコンペを実施するとした当初の考えを撤回し、火災前の形に復元する方針に同意した。大統領府が9日、明らかにした。地元メディアが伝えた。

マクロン氏は「ノートルダムをより美しく再建する」として復元以外の選択肢を示唆し、大きな議論を呼んだ。専門家だけでなく世論の多くは復元を支持。マクロン氏は、火災後5年以内に修復を完了するとの自身が掲げた目標実現へ向け作業を迅速に進めるためにも、復元が望ましいとの考えを受け入れた。

この日、専門家や議員らでつくる文化財に関する国の委員会が開かれ、ノートルダムの保護

を担当する国の建築士は、火災前に最も近い形に修復する計画を提示。委員会は屋根や尖塔を元の素材で修復することについて全会一致で賛成した。

12世紀に建築が始まったノートルダム大聖堂に最初に尖塔が設けられたのは13世紀半ば。

▶2010年9月撮影のパリ・ノートルダム大聖堂（左）と、2019年4月の大火災後に撮影された同大聖堂（ロイター＝共同）



2020年
7月10日
夕刊

① 記事のノートルダム大聖堂はどこにありますか。

[]

② 記事のノートルダム大聖堂の尖塔が焼け落ちてしまったのはいつのことですか。

[]

③ 焼け落ちた尖塔の修復に関して大きな議論を呼んだのはなぜですか。

[]

④ 尖塔の修復は最終的にはどうなることになりましたか。

[]

年 組 名前

記事を読んで問いに答えましょう。

解答例

ノートルダム尖塔 元通りに

仏大統領、コンペ撤回

【パリ共同】フランスのマクロン大統領は、昨年4月のパリ・ノートルダム大聖堂の大火災で焼け落ちた尖塔（せんとう）の修復に関して、国際的なコンペを実施するとした当初の考えを撤回し、火災前の形に復元する方針に同意した。大統領府が9日、明らかにした。地元メディアが伝えた。

マクロン氏は「ノートルダムをより美しく再建する」として復元以外の選択肢を示唆し、大きな議論を呼んだ。専門家だけでなく世論の多くは復元を支持。マクロン氏は、火災後5年以内に修復を完了するとの自身が掲げた目標実現へ向け作業を迅速に進めるためにも、復元が望ましいとの考えを受け入れた。

この日、専門家や議員らでつくる文化財に関する国の委員会が開かれ、ノートルダムの保護

を担当する国の建築士は、火災前に最も近い形に修復する計画を提示。委員会は屋根や尖塔を元の素材で修復することについて全会一致で賛成した。

12世紀に建築が始まったノートルダム大聖堂に最初に尖塔が設けられたのは13世紀半ば。

▶2010年9月撮影のパリ・ノートルダム大聖堂（左）と、2019年4月の大火災後に撮影された同大聖堂（ロイター＝共同）



2020年
7月10日
夕刊

① 記事のノートルダム大聖堂はどこにありますか。

[フランス パリ]

② 記事のノートルダム大聖堂の尖塔が焼け落ちてしまったのはいつのことですか。

[2019年4月]

③ 焼け落ちた尖塔の修復に関して大きな議論を呼んだのはなぜですか。

マクロン大統領が「ノートルダムをより美しく再建する」として復元以外の選択肢（国際的なコンペを実施すること）を示したから。

④ 尖塔の修復は最終的にはどうなることになりましたか。

[火災前に最も近い形に修復する（屋根や尖塔を元の素材で修復する）。]

年 組 名前